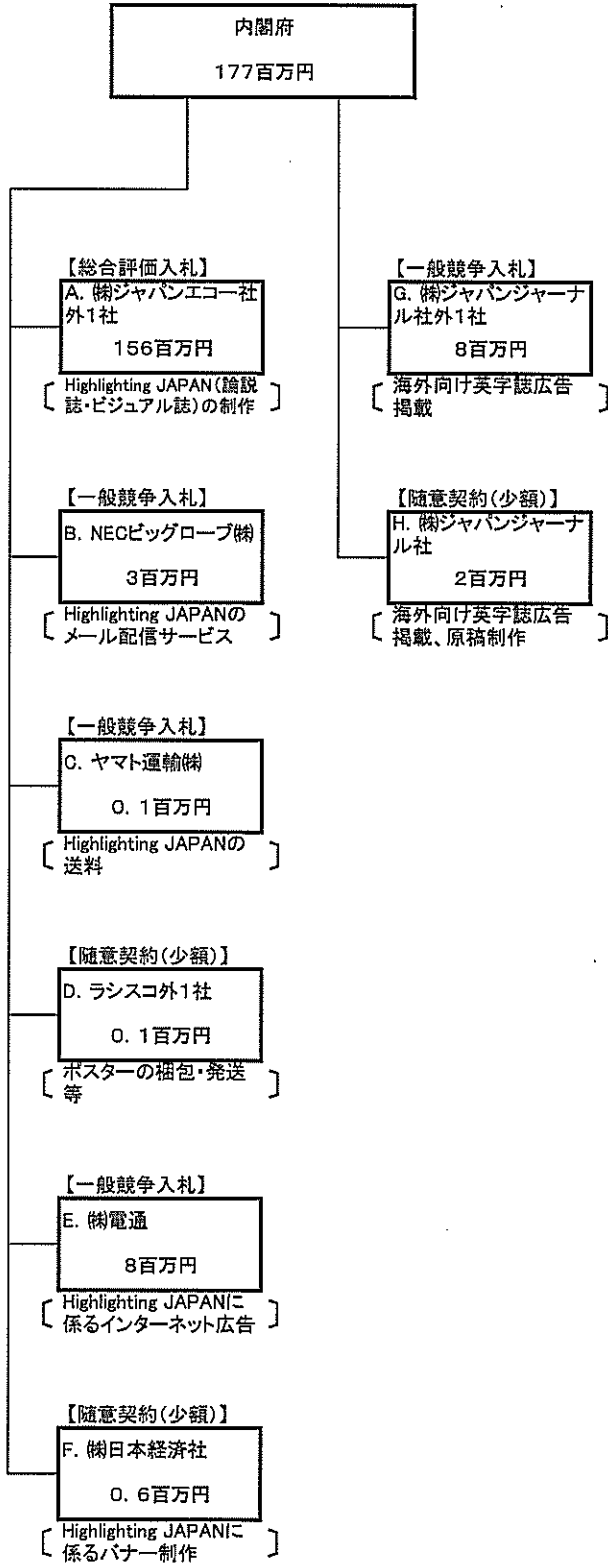


行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	対外広報諸費	事業開始年度	昭和24年度	作成責任者		
担当部局	大臣官房	担当課室	政府広報室	官房参事官 片山 朗		
会計区分	一般会計	上位政策	政府広報・広聴による政府施策の理解、協力の促進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	内閣府設置法第4条第3項第38号	関係する計 画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	政府の重要施策については、政府全体の立場から一体的に広報活動を行うことが必要である。政府広報は、このような重要施策に関する広報を、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等の媒体を政府の広報共同利用媒体として確保し、効率的・機動的・重点的に実施するものである。そのうち対外広報諸費は、月刊英字誌『Highlighting JAPAN』等を制作するための経費である。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	海外向け広報として、平成19年度から電子媒体による月刊英字誌『Highlighting JAPAN』を発行している。『Highlighting JAPAN』は、海外に向け、我が国に対する正しい理解と協力を得るため、政府全体の立場から政府の重要施策を紹介することを目的とする唯一の媒体である。その他、英字誌への広告掲載などを各府省の要請を踏まえ適宜行っている。					
実施状況	平成21年度は、『Highlighting JAPAN through articles(論説誌)』及び『Highlighting JAPAN through images(ビジュアル誌)』(各誌12回発行)及び、英字誌への広告掲載(2誌、「太平洋・島サミット」「メディア芸術祭」「ビジット・ジャパン・キャンペーン」等、6テーマ掲載)による海外向け広報を実施。 (平成22年度は、電子雑誌(『Highlighting JAPAN』)のビジュアル誌と論説誌を一誌に統合)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	681	305	256	162	162
	執行額	268	290	177		
	執行率	39%	95%	69%		
総事業費(執行ベース)	268	290	177			
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	『Highlighting JAPAN』は、納品物により誌面内容の確認を行った上で、政府広報オンライン上に掲載した。また、ページアクセス数の計測により閲覧状況の把握を行っており、平成21年度のアクセス数は論説誌・ビジュアル誌合わせて月平均約12,000件である。創刊時の平成19年度(同4,000件)に比べ、着実にアクセス数を増やしている。主なアンケートの回答には「wonderful work, easy to access, comprehensible, useful. (ベルギー在住、20代女性)」 「I enjoyed learning about Japanese lifestyle and culture. (米国在住、40代女性)」などがあつた。英字誌への広告掲載は、納品物により誌面内容の確認及び掲載の確認を行った。				
	見直しの 余地	平成18年度までは英文月刊誌2誌を買い上げ、在外公館や海外の大学、有識者へ送付していたが、19年度からは予算効率化の観点から買い上げ・送付を取りやめ、より幅広い層の人々に向け、新たに電子雑誌(『Highlighting JAPAN through articles(論説誌)』及び『Highlighting JAPAN through images(ビジュアル誌)』)を発行。22年度は、更なる予算効率化を図るため、ビジュアル誌と論説誌を一誌に統合すること等により94百万円削減を図った。また、契約に当たっては、競争性のない随意契約は行わず、一般競争入札を原則として調達している。				
予算 監視 の 効率	平成22年度は、昨年度の事業仕分け結果の反映により、約6割減となった予算の下で初めての執行となるが、今年度の執行状況、効果等の分析・精査を踏まえ、更なる効率化を検討すべき。特に論説誌とビジュアル誌の統合については、それに対する海外の反応等を検証する必要がある。					
補 記	各広報テーマに有効な媒体により実施するよう政府広報予算全体で調整して執行しているため、各諸費ごとの執行率は100%を超える場合がある。					

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて  
補足する)  
(単位:百万円)



(注) 四捨五入の関係で、合計等は必ずしも一致しない。

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出さ  
 れている者につ  
 いて記載する。  
 使途と費目の  
 双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.㈱ジャパンエコー			E.㈱電通		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
企画編集費	企画・編集取材	44	広告料	Highlighting JAPANに係るインター ネット広告の掲載	8
Web制作費	電子書籍化	39			
計		83	計		8
B.NECビッグロープ㈱			F.㈱日本経済社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
運用費	メール配信サービスの運用	3		Highlighting JAPANに係るパナ ー制作	0.6
計		3	計		0.6
C.ヤマト運輸㈱			G.㈱ジャパンジャーナル		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	Highlighting JAPANの送料	0.1	広告料	海外向け英字誌に広告掲載	5
計		0.1	計		5
D.ラシスコ			H.㈱ジャパンジャーナル		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	ポスターの梱包・発送	0.1		海外向け英字誌に広告掲載及び 原稿制作	1
				海外向け英字誌広告の原稿制作	0.7
計		0.1	計		1.7

## 複数支出先ブロックの内訳

別紙

### Aブロックの内訳

支出先	支出額	内容
㈱ジャパンエコー社	83百万円	Highlighting JAPAN(論説誌)の制作
㈱共同通信社	73百万円	Highlighting JAPAN(ビジュアル誌)の制作

### Dブロックの内訳

支出先	支出額	内容
㈱ラシスコ	0.1百万円	ポスターの梱包・発送
佐川グローバルロジスティクス㈱	0.0百万円	Highlighting JAPANの送料(海外)

### Gブロックの内訳

支出先	支出額	内容
㈱ジャパンジャーナル	5百万円	海外向け英字誌 広告掲載
㈱協同宣伝	3百万円	